



第106号  
〒950-2022 新潟市西区小針4丁目5番18号  
真宗仏光寺派 瑞林寺 光輪会  
電話 (025) 266-1846・FAX (025) 266-1907  
瑞林寺ホームページhttp://www.zuirinji.com

お盆のご案内・光輪会総会報告  
瑞林寺住職坊守門徒法要・渡部親子三代展



※お盆十三日の月参りは当日お休みです。

瑞林寺住職坊守門徒法要

### お盆臨時駐車場のご案内



P1 瑞林寺参詣者専用駐車場  
P2 小針公民館臨時駐車場  
P3 ラ・クオール臨時駐車場  
P4 A.K.A KOBARI 臨時駐車場

瑞林寺お参りの際、車で来られる方に臨時駐車場をご用意致します。上記の地図をご覧ください、安全運転でお越しくださいますようお願い申し上げます

**お参りの作法・手順**

- まず本堂の阿弥陀さまにお参りします
- 住職にお盆の挨拶をします
- 本堂にお参りの後、お墓にお参りします
- お供えのビン・カン・生ものはお持ち帰り下さい
- お墓のお経は僧侶が待機しております

※光輪会費は本堂にて受け付けております



瑞林寺ホームページhttp://www.zuirinji.com Google マップ ストリートビュー境内写真UPLしました。

### 老院の探る 瑞林寺の由来と歩み

上杉家、国替で会津へ

慶長三年(1598)一月十日、秀吉から上杉家に三月末までに越後から会津へ国替する命令が下りました。会津の蒲生氏を宇都宮に移し、上杉には越後と北信濃四郡と引き替えに会津と米沢九十二万石と、これまでの佐渡、庄内をあわせて二百二十万石と二倍近くの領地となつたのです。これは徳川家康、伊達政宗に備えての豊臣方の政策で、石田三成が大坂からやってきて城の受け取り、引き渡しを監督する。直江兼続は現地の陣頭指揮を、景勝は京伏見を三月六日に発ち、三月二十四日に越後から会津に入り家臣の配置をします。このときの秀吉の厳命は、

①家中のものは侍から奉公人まですべて連れて行く

②百姓は一切連れて行かない

とありますが、家臣として会津へ移るか、百姓として越後に残るか選択をせまられ、なかには兄弟で別々の道を選んだ家もありました。

会津への引越は三月末まで終えねばなりません。四月には越前国北庄(福井市)から溝口秀勝、村上頼勝を従えて堀秀治が越後の新領主として移ってきます。三月末は太陽暦の

五月初めにあたり、国境の山々や峠にはまだ雪が残っています。越後からは八十里、六十里越えの山越えと、新潟から阿賀野川を上る船便だといわれます。この季節、五〇〇人ともいわれる家臣とその家族が短期間に一挙に移る。その引越しや輸送に人々も駆りだされ、さまざまな大移動の騒ぎでした。

一番の混雑は新潟の港ともいわれ、引越の人々であふれ、時もすぎず寺泊からきた菊屋五十嵐家など、結局土地に舞い戻り土着したとも伝えられ、領主に関係深い寺や神社も会津へ行動をとりました。

### 上杉家恩顧の寺々

家臣二〇〇〇人の支給高を記した「文禄三年定納数目録」に、瑞林寺の知行、石高が載っていることを先にのべましたが、そこには次の八ヶ寺が記録されています。

- 十九人半 三三石五斗五升 三條 本成寺
- 一三人八分 二二三石
- 一三人八分 二二三石
- 一一人半 二八石五斗五升
- 一一人三分 二二三石
- 四人半 七三石
- 三人七分 六三石
- 三人七分 六三石

●高田 林泉寺  
●高田 大乗寺  
●吉川町 瑞林寺  
●瑞林寺  
●瑞林寺  
●瑞林寺  
●瑞林寺  
●瑞林寺  
●瑞林寺  
●瑞林寺

●は米沢市現存

越後から会津に移った寺は不明ですが、三年後の慶長六年(1601)に上杉家が会津から米沢に移封になったとき、一緒に移った寺は二十六ヶ寺あり、そのなかで「目録」に見える寺では、大乗寺、転輪寺、常安寺、の三ヶ寺が知られ、遅れて元和三年(1617)に林泉寺が米沢に建立されます。

現米沢の街中には、林泉寺・常安寺・転輪寺は現存して、いずれも禅宗(曹洞宗)の三ヶ寺それぞれ、越後の高田・栲尾・吉川町と米沢の両方に共存します。

謙信ゆかりの常安寺は、栲尾にそのまゝ一部の僧侶と宝物は残り、一部は会津、米沢へと分かれて上杉家と行動を共にしました。その清瀧山常安寺は、米沢市城南にその連続した歴史を伝えておられます。

しかし、瑞林寺の名は文禄三年(1594)から慶長三年(1598)の国替の四年間に、まったくその消息を知ることができなくなりました。

### お盆のお参り 八月十三日

●去月九日、当山十八世住職・坊守、十九世坊守の法要をありがたく勤めさせていただきました。多数の会員の皆様にご焼香をいただき、ご香資厚く御礼申し上げます。

●総会にあわせての法要、記念行事として瑞林寺ゆかりの渡部家親三代の絵画展を開催。新潟日報の紹介もあって、遠近から来院で三日間とも行列でした。村上、新発田、長岡、小国から遠く長野の人もあり、お斎の最中にすでに本堂前に待機。時間前に入場いただく人気にびっくり。

●初日、監修の岡村先生の記念講演は百五十名の聴講者、本堂一棟外縁にあふれ立ち席も多数。三日目の本井先生の講座も多数で資料の追加コピーで足りていない。

●渡部家も遠路和歌山東京から一族十九名も参加。来賓、協賛者に総代、寺族等渡部家とオーブンニングのお勧めで瑞林寺法要の幕開け。

●お導師様の威徳寺様、願随寺様に厳念寺様より法要のお勧め、多数のお参りをいただき実加のいたりです。

●三日間でどれだけ小針の瑞林寺に足を運んでくださったのか、全く想定外の盛況。記念出版の図録も作った甲斐がありました。

つばやき...最近境内に涼しい音色が聴きたくて、数個の風輪を吊しました。暑いときは風もなく、当然風輪は鳴りません...



法要参詣の門徒会員

瑞林寺住職・坊守法要  
十八世住職三十二年忌  
十八世坊守二十三年忌  
十九世坊守二十三年忌  
御導師 威徳寺様  
願随寺様  
脇導師 願随寺様



第二日目 七月九日(日) 当山門徒法要



第三日目 七月十日(月) 講座(鑑賞と屏風掛け軸の扱い方) 本井晴信先生の講義に聞き入る聴講者



樋口会長の総会議事進行 平成二十九年度 門徒の会 光輪会総会

### 平成28年度 光輪会 会計報告

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
1 繰越金	38,578	1 寺院維持費	1,575,608
2 会費	3,183,000	①諸会費	61,000
3 利子	13	②営繕修理費	736,228
合計	3,221,591	③保険費	736,260
		④清掃管理費	42,120
次年度繰越金	16,881円	2 寺院運営費	1,629,102
		①教化研修費	180,000
		②法要荘厳費	200,000
		③印刷費	549,556
		④通信費	185,208
		⑤図書費	94,734
		⑥会議費	61,126
		⑦備品費	239,400
		⑧雑費	119,078
		3 特別会計繰越金	0
		4 予備費	0
		合計	3,204,710

### 本山会計報告

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
1 繰越金	11,303	1 本山維持金	1,079,355
2 会員懇志	1,770,000	2 本山報恩講懇志	100,000
3 利子	4	3 ともしび	105,000
合計	1,781,307	4 新門様得度式祝金	30,000
次年度繰越金	29,268円	5 年始お香	200,000
		6 カレンダー	137,684
		7 特別会計繰入金	100,000
		合計	1,752,039

特別会計報告	
項目	決算額
1 繰越金	3,022,998
2 本山会計繰入金	100,000
3 光輪会会計繰入金	0
4 利息	39
合計	3,123,037

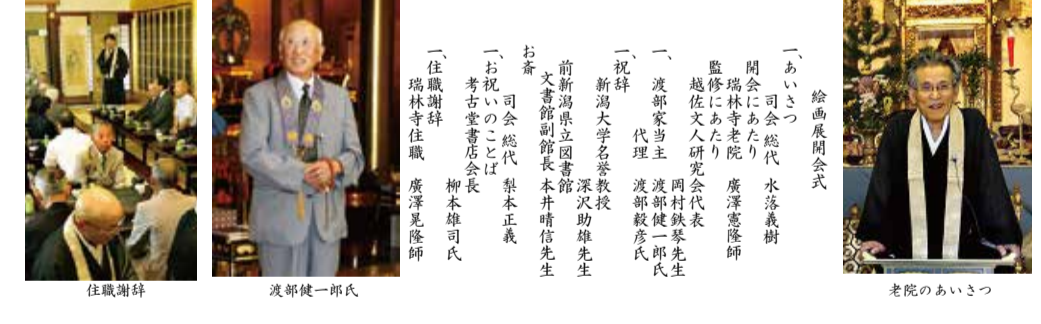
収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
1 繰越金	3,022,998	1 熊本地震見舞金	100,864
2 本山会計繰入金	100,000	2 墓地境内下水道工事助成金	1,000,000
3 光輪会会計繰入金	0	合計	1,100,864
4 利息	39		
合計	3,123,037	次年度繰越金	2,022,173円

監査報告 監査の結果正確適正であることを認めます 平成29年6月15日 内山憲信 印 渡部正 印

瑞林寺ホームページhttp://www.zuirinji.com Google マップ ストリートビュー境内写真UPLしました



渡部家代表の焼香 岡村先生の書 第一日目 七月八日(土) 渡部家記念法要 オープニング



絵画展開会式 瑞林寺老院 廣澤憲隆師 監修にあたり 越佐文人研究会代表 岡村鉄琴先生 渡部家当主 渡部健一郎氏 祝辞 渡部健一郎氏 新潟大学名誉教授 深澤助雄先生 前新潟県立図書館 文書館副館長 本井晴信先生 柳本雄司氏 瑞林寺住職 廣澤見隆師 住職謝辞 渡部健一郎氏



柳本雄司会長 本井晴信先生 深澤助雄先生 渡部健一郎氏 岡村鉄琴先生



岡村先生の講演外縁にこぼれる オープニング お斎 展示広間の風景

つばやき...趣味程度家庭菜園をはじめ、虫、病、肥料に水。おまけに終わらぬ草取り。ご苦労を肌身で感じます。